

北杜市立白州中学校 への感想3-2

平和と公正をすべての人へ

〔生徒の皆様へ〕

- ポイントがすっきりまとめられていて、スライドがわかりやすかった。1番身近な問題であるいじめに着目してとてもいいと思った。また、自分の学校でいじめが起きているという現実から目を背けていないことが素晴らしいと思った。学校側も生徒の考えた対策などを実行してもらいたい。
- 虐待の実態についてグラフや数字で提示していて、説得力があると感じました。いじめの原因についてわかりやすくまとまっていると思いました。生徒がいじめ対策についてどう感じているかを知ることができる機会はほとんどないので、知ることができてよかった。
- いじめを学校内だけでなく社会でも起こっていると思うという仮説はなかなか思いつかないものであり興味深かった。高校と中学のいじめの件数の差からなぜいじめが起こるのかという考察により、話に繋がりが生まれとてもいいグラフの提示であると感じた。
- 平和と公正というテーマで社会問題である虐待やいじめについて、最初に説明していた点がその後の仮説や考えを理解するのに役立ち、とても良いと思った。実際に北杜市が行っている対策を具体例として、記載しており、課題や具体例の提示によって、主張が分かりやすかった。
- 身近な暴力には、いじめ、虐待などがあり、それがどんなものなのか、子どもへの影響にはどんなものがあるのかについて知れました。スライドがとてもわかりやすく良かったと思いました。いじめが起こった時は他人ごとなどと思わずに、助けるなどして自分から行動しようと感じました。
- 仮説を立てながら結果を導いていくという方法が素晴らしいと感じた。いじめの根本的な解決方法に焦点を置けているのも良いと考える。実際にいじめ・虐待を受けている子どもがどのような機関があるかを考えていけたらさらに良くなると思った。
- 「身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待」4つの分類は聞いたことがありましたが、相談が大切と結論付けているところが良いと思いました。発表の進め方も分かりやすく良いと思いました。仲裁者が標的になったり、傍観者多かったり、いじめには様々な課題があります。たしかに、いじめは身近なことであり、他人事として捉えずに、生活することはとても大切なことだと思いました。虐待やいじめのない世界になるといいですね。平和な世界になりますように。
- SDGs16「平和と公正をすべての人に」という規模が大きく感じるような問題を、身近な 虐待・家庭内暴力・いじめから考えられて良かったです。いじめに対し、日本が行っている対策と実際の生徒が考える対策法の比較が印象的でした。
- 発表ありがとうございました。平和と公正という世界規模のテーマから、自分たちにより身近ないじめというものに焦点を当てて、とても主体的に探究活動を行っていて素晴らしかったです。私も教師を目指す立場にあるので、いじめが起きないためにどうすればよいか、助けやすい環境づくりについて追及していかなければならないと考えるきっかけになりました。
- 中学生である自分たちにとって身近なことを探究のテーマとしているため、考えやすいのではないかと

思いました。実際に生徒が考える対策法をアンケートで聞くことで、信憑性のある発表になったのではないかと思います。最後の伝えたいことを、どのように広げていくか考えられればさらによくなるかなと思いました。

- とても難しい問題ながらも仮説がしっかりしていて良いと感じました。家庭内虐待について考察をしていてとても良いと感じました。平和と公平をすべての人へ届けるために幼少期の生活（家庭内虐待・いじめ）に目を付けた事に驚きました。これからも頑張ってください。
- 虐待といじめについて、その原因や詳細、現在行われている対策について知ることができました。グラフを用いた表現が多く用いられていて、視覚的にも理解しやすかったです。また、現在の行われている対策に対して、生徒目線での対策案を出していたのが印象的でした。
- 生徒の中での「いじめ」に対する意識を調査することなどを通じて、なぜ「いじめ」がなくなるのか、どうすれば「いじめ」をなくすことができるのかなど、様々な視点から「いじめ」の根絶のためにどうすればいいかを考察していて素晴らしく感じました。また、グラフを多用して視覚的情報が多く、発表が理解しやすかったです。
- 「平和」と「公正」とは本当に実現することはとても大変なことだと思います。児童虐待や体罰について自分たちでよく調べてまとめられていました。説明も聞きやすく、スライドも具体的な数値から説得力が感じられてとてもよい発表になっていたと思います。今回考えた対策法は現場にいるあなた達だからこそその視点だと思いました。忘れず、呼びかけていじめをなくしていけたらよりよい実践例になると思います！発表おつかれさまでした。

〔教職員の皆様へ〕

- 社会での暴力、戦争は身近なところから...という視点、とても素晴らしいと思い、見させていただきました。厚労省HPからのデータや自分たちの中学校でのアンケートなど、背景となる調べや身近な環境での調査を踏まえ、自分たちの考え、さらなる問い...と進めていました。「相談が大切ということ伝えたい」「他人事とは思わず生活していきましょう」と、2つのまとめが出ましたが、ここからさらに自分事として深めて、他の人とも議論してほしいと感じました。
- 「平和」と「公正」という概念を「いじめ」という身近な問題を切り口にして考える発想が良いなと思いました。全校に向けたアンケート調査を実施し、本物の声を聞くことで、より自分事として考えることができたのかなと思います。アンケート結果の「いじめは場合によってはあってもよい」という素直な意見はとても貴重だと思います。このことについて、もっと考えたり、友だちと議論したりすると、より「平和」や「公正」について考えを深められるのではないかなと思います。「いじめは絶対にだめ」「戦争は絶対にだめ」なのに、現実ではいじめも戦争も途絶えることがありません。その本質を考えることができるのではないかなと思います。最終的に、みなさんが考える「平和」と「公正」とは何かを、みなさんの言葉で聞きたいなと思いました。